

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、広島に原爆が落ちたことがあるとい
うのは知っていたけれど、長崎に落ちた
ということは知らなかったのて教えてもらえた
と思いました。原爆の表面温度は、500℃な
ど、1000℃以下かと勝手に思っていたけれ
ど、その私の想像よりむしろ温度が高い、
7000℃だということを知り、すごくおどろきまし
た。原爆が落ちるときの動画や、落ちた後
の写真など、色々と貴重なものが見れてよかっ
たです。原爆先生の話し方も、原爆のこねえを
強調にして怖いと感じたし、たまに演技を
してくれて、その演技でそのときどのような体制だ
たのかも分かってものすごくよかったです。
私は、原爆先生の授業を受ける前は、原爆
とは、爆発する爆弾のようなものかと思っていた
けれど、原爆は遠くまで熱風が行くということ
を知り、改めて、原爆はこれだと思いはずして、
原爆について、もっと知れたくなりました。原爆につ

いて、色々と僕たちへ伝えていただき、ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、原爆について夏休みにテレビで式典のニュースを見て、原子力爆弾が広島と長崎に落とされたことと聞いたことがあるだけでした。

原子力爆弾を落とす場所は、適当に決めてたのではなく、アメリカが条件を決めてそれに合った場所にだけ落とした、ということも今回の特別授業で初めて知りました。

原子力爆弾の重さが4tもあったことにとってもおどろきました。しかも、広島と長崎では別の原子力爆弾が落とされたこと知り、長崎はどの原子力爆弾が落とされたのが気になり、調べてみると、広島は「トルボーイ」、長崎には「ファットマン」が落とされたのだと知りました。

また、広島に落とされた原子力爆弾は、広島の人口の5人に4人が被爆したと思うと、急にこわくなりました。

池田さんの話を聞いて、原爆とはとてもおそろしい物だと思い、二度と起こってほしくないなと改めて思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の授業を受けて、私は原爆がおとされた
ときの映像などを見て、とても衝撃を受けました。
すごく怖かったし、原爆がおとされて、けがをしている
人たちがいたり、兵隊さんが行動したり、とても
大変だし、つらいだろうなと思いました。そして、
兵隊さんたちがあきらめずに行動したの
が本当にすごいなと思いました。昔は、こんな大変
なことがあったりしていて、私は、ビックリしました。
けがをした人も、たくさんいたりしていて、家族や
仲のよかった子とかみんないたりしたと思うのに、なくな
ってしまった人たちが本当に、切ないなと思いました。
広島市の原爆ドームでは、原爆がおとされた
ときの様子や、人がどうな、ちゃ、たかなどが
あって、本当に怖く、つらいきもちだ、たんだな
というのが伝わった気がしました。3、4年生ぐらい
で、国語で戦争のお話を聞いたりして、いたけ
ど、6年生では、原爆についてより深く知
れたので、いい経験になりました。①

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

池田先生 本日はお話しありがとうございました。
今日知れたことはたくさんあります。
まずは、マリヤ諸島のテニアン島からエノラ・ゲイ
が出発したことです。私は最初、アメリカの基地
から出発していたので、島から出発したことを知れて
よかったです。次に知れたことは、原子爆弾投下
都市の条件がちゃんとあったということです。
私は最初、適当に選ばれたと思っていました。
でもまさか原子爆弾に投下条件があるとは思
いませんでした。次に知れたことは、
こうなった都市がさらに横浜、新潟、京都
があったことです。次に知れたことはエノラ・ゲイ
の名前は機長のお母さんの名前だということ
を初めて知れました。次に知れたことは
死者数、14万人中2万人があとかたもなく
死んでしまったことです。

池田先生がまじょうなお話をしてくれたから13人な
ことを知れました。まじょうなお話 ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私はこの原爆先生の授業を通して様々なことを学びました。

原爆の被害として爆心地の灰色の世界や防火水箱の中にあつた死体やせんしんやけどした人などのとても辛いことがあつても学びがある言ひでした。

トビラの前に座つていた人のあつた原爆の威力やその理由などを学びました。

川にあつた死体や原爆ボムの代りやうにも驚くことができました。

被爆した人たちに人間でない人が焼けた焦げた人などの話を聞いて私はとてもかなしくなりました。

けれど町はこうしてあつたきれいな町になつてよかったです。

原爆ボムなどの空襲やお墓などのこのようなことがあつたということを知つていろいろなことを新しく知りました。

ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今回の原爆先生の「池田さん」本当にありがとうございました。

私は初めて、原爆という物を知らず、^に名前だけ知っていましたが、今日でアメリカが新しく作った物だと知りました。原爆が広島に落とされたことは知っていましたが、2回目の原爆は午前11時ごろ長崎に落とされたことは初めて知りました。私が一番心に残っているのは2つあり、1つ目は広島に原爆が落とされたときの動画が心に残っています。原爆が落とされた瞬間に雲が上にゲンゲンと上がっていくスピードが速いところや落ちた瞬間のけむりがすぐに色々な場所へいくシーンもとても速くてびっくりしました。2つ目は、いろんな人の面々が写っていた絵です。なぜそんなに面々が溶けていたり、落ちていくのだらうとその時は思っていたのですが、今では暑すぎたりしたからなのかなと理解しました。歩いていると中に焼けてしまったり、暑さに必死にたえているということも知ることができました。自衛隊の人が困っている人をトラックに乗せるシーンの気持ちも自分に伝わってきました。そして原爆が落とされた瞬間の温度は、私は軽く5000℃だと思っていたのですが、池田さんの話を聞いて熱の中は100万℃、熱の外側は約7000℃と聞きとてもおどろきました。それと人間が休まっていたと思うと、私はとてもこわくなりました。

今では戦争はないですが昔は大きな戦争で苦しむ人達や戦争で生きえいになてしまった人もたくさんいますが、原爆の授業としてとても良かったと思います。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆は、たった一発であっても人間の人生を壊すには十分な威力を持っていて、それが日本に2発落されて被害にあったのだと思うと、同じ人間なのが嫌になります。原爆の被害者は日本でしうが、元正せば日本が戦争にかりせえなければ起こらなかったことで、おかしな何だったんだらうかと疑問になります。自分だつて同じ人間で、死にたくはないはずなのに他人の命をうたてたいんだらうかと、とても悲しい気持ちです。原子爆弾を落とす飛航艇(レキオ)に、母親の名前をつけるというのが、とても肉に思えます。レキオ側は、戦争で勝つための名だから名をつけるのでしうが、それでもういしても大人で一生を生き抜いているであらう、心の寄り添いがあるであらう母親の名前です。その名前でもう一人の人間を殺めたのです。お話を聞いている際は、自分が被害者の痛みを想像できたことが恐怖でした。とても鮮明に語られていて、経験のないからなのか、とても想像ができません。その事実が、原爆の悲しさも物語っているようにも、涙がでてきました。私事ではありますが、曾祖父が太平洋戦争に行かれていて、原爆での戦争は少し離れたけれど経験者がいづらう身近、いうのでしうか。被害が大きかったのだから想像できました。今回の特別授業で、同じあつて人間なのだと実感することができました。今でも世界を見れば戦争が起っています。原子爆弾、使いたくはないけれど、後にはいいと思います。そして同じ地球上人間同士の喧嘩はすなわち、武や無い方法で終わることを願っています。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の授業を受けて感想は、火暴発したときの、中心温度が100万度で外の温度が7000℃という太陽よりも熱いことが初めてしりました。

すごいと思ったことは、兵隊が七日間も救助活動やい体を運ぶということを知りたくないと言いながら救助活動やい体運びをされたことにすごいと思いました。

びっくりしたことは、衝撃は波だけで家もこわしたことにびっくりしました。あとし、衝撃、波の速さが440mという音速より速いことにもびっくりしました。この原爆爆のこを掌んで思ったことは、たった一つの原爆爆だけで芥原爆者数が24万人、死者数は14万人合計38万人が被害を受けたことに私はよくないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今まで自分は原爆について、
存在は知っていたけれど、くわしい
とは全然知らなかつたのですが、この授
業を受けて、原爆が落ちた広島の様
子が、とても怖くて、実際に体
験した人がどれだけ辛くて、
大変だったのかが、動画や話を聞
いるだけでも伝わってきました。
義三さんのような少年兵がたくさん
の人の死体の搜索や、焼却
作業などを9日間行なっていた
ことを聞き、辛いのにとても
がんばっていてすごいなと思い
ました。この授業を受けて、原爆
が人が焼けてしまうほど熱いこ
とや、なくなてしてしまつた人が十四万人もい
ることが分かり、今後 原爆が起こる
ことがないように、国と国で仲良くしてほ

しいと思いました。ご活用ありがとうございます。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは最近、原爆なんて昔に、おとされたもので、べつにぼくたちとはあまり関係がないと思っていました。だけど、原爆先生の特別授業を受けて再び原爆の恐ろしさを知りました。原爆が爆発したときに3.12m、約47度、直径200mの火の玉をつくりだし、真ん中では太陽の表面ほど、約1667倍で外側では約1.17倍であることをびっくりしました。ぼくは最近「はだしの元」というまんがを会に読んでいます。ぼくはよく自分と原爆はあまり関係がないと思ってしまふ時があります。そのたびに「はだしの元」が原爆や戦争の恐ろしさおしえてくれます。そして、はだしの元でも生きていました。が、やっぱり人なのに人じゃない人に似たなにかになってしまった人達。かいたのです。そしてなにかにもなれず、この世からきえてしまった人も、でも人間はすごい。灰色のまちをまたすめるようにするなんて。先生、今回は特別授業本当にありがとうございました。ではお元気で。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

貴重な原爆の話を聞いて私は恐ろしくなりました。
原爆が落とされた広島、長崎が悲惨な所だ
たかよく分かりました。当時の広島人口70%の人
が原爆を実際体験していることに驚きました。
それから、原爆の熱が太陽よりも熱いことにも
敬敬言言しました。衝撃波の速さが音速よりも速い
ということも初めて聞きました。原爆が落とされたと
きに出来るキノコ雲が成層圏までに達してできた雲
だということも初めて知りました。皮膚が溶けてドロ
としているなどの話を聞きとても驚敬愕言しました。
女の人をおぶっているとき生きているぬくもりがった
やり幸せだったと話しておりとてもきつかったというこ
とが分かりました。一番印象に残ったことは、義三さんが
原爆資料館の被爆者の再現を見たとき私は、見てられない
ものでしたが、義三さんが「きれいすぎる」と言っていて、これ
よりも悲惨だったんだと驚敬愕言しました。今日の話を
聞いてより、原爆の威力と怖さ、そしてこのような悲
劇をくり返したらいけないと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、原爆先生の授業を受けて、原爆をくらった人の気持ちが前より何十倍、何百倍しれた気になりました。私は最初、爆発して死んだ人がわいそう、と思ってました。ですけど3日間放置された死体の臭いや、人間がまだがはがれていくと言った想像を絶はして座っていたトが黒いシミとなり消えるほどいやしくも知ってすごくおどろかされました。再見ドラマ(?)もすごくきんぱく感があってこれを受けた人はこれの何百倍もこわい思いをしたんだと思いました。一回目のビデオよりも二回目のビデオの方が私はきんぱくをかんじました。それだけ原爆地帯は存在なのだと思えます。そしてこれからは原爆のこわさを次の世代に受けつぐことも大事なのかなと思ひじんじん受けつぐ努力をしたいと私はすごく思いました。あらためて原爆のこわさを知る良い経験もできました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

授業を受講して、原爆がどれほど恐ろしいものかを知った。授業を受ける前は、爆発で一瞬で死ぬんだろうなと思っていただけ、原爆が落とされた近くにいる人だけで、まわりの人は皮がはがれて、丸こげになっても生きていそ助けを求めいと聞いて、ぞとした。あと、暑くて川に飛びこんだ人たちの死体から汁がでてくるのに吐いても、死体を国の指示だからで運ぶのはちょっと怖いと思った。

先生の話ですごいと思ったのは原爆を作った人がその原爆に自分のお母さんの名前をつけたことだった。また、きのこ雲がどうやってできるかがすごかった。きのこ雲の話で雲が上に上っていてそのまゝ酸素のない宇宙との境まで行ってこれ以上、上に行けないから横に広がってそれがきのこに見える、というのがすごいと思った。

長崎にも原爆は落とされたのに、原爆は落さなかったのが、広島だけ、というのが疑問に思った。

授業を受けている時に、もし、自分がいる所に原爆が落とされたら、と思うたら、^{背筋}がこおった。本当に日本が戦争をやめて、ずっと上かたが、って人生で一番思った。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて原爆の見方が変わりました。前までは原爆が落とされて大変なんだと思っていたけれど今は、原爆が落ちてたくさんの方が亡くなって悲しくて恐いと思います。

原爆の中心部は100万℃でその周りも7000℃という想像できないほどの高温です。その衝撃波の速さがなんと音速よりも速く秒速440mだそうです。そんなに大きい衝撃波だったことは知らなかったです。

単戈争や原爆弾などの無い平和な世界になったらいいと思います。

それで長崎や広島に原爆弾が落ちてなかつたらたくさんの方の命が救われてんな悲しい思いをしなくてすんだと思います。

最後に自分もこの場にいらなにも考えられずはなにもできませんでした。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

僕は、原爆先生の授業を受けて、原爆はとてもおそろしい物だと思いました。

はじめのタイトルの「7000℃の少年」という意味が分からなかったけれど、授業を終えたあとに「7000℃の少年」⇒「7000℃のリトルボーイ」と理解しました。また、リトルボーイが爆発した温度が太陽の6000℃を222℃上回っていたことにおどろきました。リトルボーイは、47歳であると聞いてびっくりしました。爆弾を投下した飛行機は、エノラゲイだとは聞いたことがありましたが「エノラゲイ」という名前がチベット大佐の母の名前だったことは知らなかったです。原子爆弾にも投下都市の条件があることにおどろきました。原爆のおちたあとの写真が、ビルもない原爆ドームだけがのこっていて、原爆の威力にびっくりしました。この原爆が東京にも落とされていたら、ものすごいダメージを受けることが想像できました。原爆は、随伴機によって運ばれた映像だと知りました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆の落ちた日は、していたけど時間は、しなかった。原爆の落ちる場所は、広島県と長崎県しかないと思ったけど小倉や横浜、新潟、京都がこうほに入っているのをはじめてした。原爆を落とすのが、ための条件が3つあってそれにあつた県を探るのがたいへんそうだなと思った。

原爆は、爆発だけではなく、放射線や、衝撃きはおそろしいというのをはじめてした。爆弾の名前がリトルボーイというのをはじめて聞いた、爆弾にも名前があるのかとてもびっくりした。原爆は、地上から600mも上で爆発していたのに、とてもおそろしい。原爆が爆発した時の温度が表面で7000℃で太陽よりも、1000℃も高いのがびっくりした。中心は、100万℃でもっと温度が高いです、100万℃ってどのくらい熱いのかわからないからびっくりした。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

暑しい中お越し頂きありがとうございました。5年生の時に、広島原爆少し知ってはいたけれど、今回の広島原爆の言話を聞いてから戦争はやっぱりよくないし、関係のない市民も巻き込まれるし、戦争をしてよくないと思いました。今回の広島原爆の言話を聞いてから戦争についての考えも変わったと思うし今回広島原爆の言話が聞けてうれしかったです。私は原爆の温度が100万℃だったのがおどろきました。地上でも3000℃だったのがおどろきました。原爆の攻撃で、全身火傷だらけと想像するだけで、とても痛々しいし、凄く怖く思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受けて私は、
この第二次世界大戦を忘れてはいけな
いと思いました。

そしてこの戦争で広島の人たちも5人に2
人が亡くなっていることを知りものすごく驚
きました。

例えば5人に2人から100人に40人。私の学年
の約1クラス分の人が亡くなるなんて物凄
い人の数だと思いました。

そして戦争に15~17才の人達まで戦争に行か
ないで悲しくなりました。

戦争が終わればその人達も長生きして
いけると思うとほんとに戦争は残酷な
人だとは思ってしかたがありません。

それに生き帰った人も大勢の仲間を失
って自分たちだけが生き残っているんだと

思ってしまう。あの戦争を忘れないよう
これからも伝えていくといいと思
います。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは、初め原火暴のとき大変だ、たんだ
ろうなと軽くしか思っていなかったけれどこの
授業をとおして、原火暴がおそろいものだとも
う一度思ったほか、被爆した人はあとかたもなくな
ったり、熱さなどで苦しむ人がいること
を初めて知る事が出来ました。

それに、17歳などの若い人が一二年言川係東
して、被爆した広島などに行、て人を運んだり
手当てをした、としていてぼくは出来ないし、
やりたくないの、で若い人たちは本当 にすごい
なと思いました。

他にも、温度が7000度もあ、て水が蒸発
してしまうことや、人の影が残るのは驚いた
けれど、資料食官などがあっても少し
本当の実感とは違、うんだなとなにか不
思議な気持ちに感じられました。

画像が本当にリアル感が出ていてそのと
きとは全然違、うけれど、いろんな事が感じま
した。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原爆のことを、この授業を受ける前は、忘
れちゃいけないことだし、後世に継いでいかな
いことだとは知っていたけど、詳しいことは
知らなかったし、正直身の周りの人の考えに
合わせて育っていたから、今の原爆に
対する意識があると思う。でも、この
授業を受けて、原爆に対する考えが改め
られたと思う。前も、原爆は悲惨な
ものだとは知っていたけど、原爆の動画
を見たり、原爆先生の話を聞くと、言葉
では言い表せないくらい残るような事
だったんだなと感じた。特に遺体を運ぶ
ときの話を聞いて、すごいなと思った。
なぜなら、いやでも逃げちゃいけないし、
吐いても運び続けることに、なんだか感
動したし、自分なら泣き止めくと思
うし、たえれないと思うから。経験者
じゃない私や、私の同年代の人たちが、
この事を語り継いでいかなければ、
原爆のことを話す人がいなくなってしまう
から、1~5年生の人たちに話したりして、
自分が原爆のことを話す人たちにこう
けんしていきたいと思う。これから
も、今日知ったことを忘れずに過
びていきたい。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今日、この話を聞くまで私の原爆に対する考えは、「日本にだけ落とされた兵器」というもので、大まかな事だけで被災地の様子などには見たこともありませんでした。

原爆で亡くなった人達への印象も苦しかったんだろうな...とか、どんな事を思っていたんだろうな...というように抽象的なものでした。私は血やきずが苦手なので「すが」そんなふんわりとしが知らなかった。なので「まあそんな血とかは出さなから」と考えていました。

けれど、実際は想像よりもはるかに残酷で、もうそんな激痛や苦しみにたえるなら死んでしまった方が楽なのでは、思ってしまう程でした。でも私はそんな体験をしたことももちろんなく、その人達の気持ちも分からないのでそんな事は気軽に言ってしまうはいけな。被災した人達の生きたという感情は絶対に否定できないものなんだなと思いました。

今までも被災した人達をおろそかにはしていませんが、この特別授業を受けて被災した人達への思いが更に強くなったと考えています。

原爆も戦争もとても怖くて残酷で、目をそむけた人になってしまいましたが、それらで亡くなった人達を起こした非劇を絶対に知っておかなければいけな事だと思いました。どうか、被災して亡くなった人々がせめて天国では笑っていますように。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原爆のことをごくくろくしか知らなかったけれど、お話を聞いて前よりもこわさを実感しました。原爆が爆発したとき、真ん中が100万℃、外周が7000℃と言うことをはじめて知りました。説明で太陽の温度が6000℃、原爆の方が1000℃も高く、それが頭上から降りてくるのを考えるととても怖かったです。

他にも原爆を落とす場所が最初から決まっていたわけではなく、その時の天候などにより変えていったことを知りました。しかも一番強くおされていたところに落とさなかったのもびっくりしました。私は原爆が最初に落とされた広島が一番おされていたと思います。

そして原爆投下都市の条件もはじめて知りました。

- ①直径5kmを起えること ②平野予があること
③今まで空襲がなかったこと」と言うものでした。

また、原爆ドームの前の名前も知ることができました。それが

「広島県産業奨励館」でした。私はその名前をはじめて聞きました。

私は今回このお話を聞いて、日本が戦争をしていたことや原爆を落とされてから100年もたっていないことかびっくりしました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは、この原爆先生の特別授業を通して原爆の恐しさをよく知りました。原爆は、今までどんなもののかわかんなくて「原爆はこわいね」と言われても「そうだね」と軽く言っていました。しかし、この原爆先生の授業を聞いて、ええかわけたためにおうそうになっている時や、原爆が投下された瞬間など想像するとすごいこわかったです。もし多摩市に原爆が落とされてしまえば、多摩市はあつたもなくなってしまうと思いました。いつもの生活をしていて急に原爆の光に包まれたと思うとすごくぞとします。また、原爆の球体の表面温度が7000℃とあると知ってびっくりしました。太陽の表面温度が6000℃と聞いてさらにびっくりしました。原爆先生のようにぼくも現実に被災したらと思うと、うんええ止まります。とても知るとしてためになるお話でした。ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

まずは特別授業ありがとうございました。
僕は、広島平和記念資料館に行ったことがあり
ます。そこで、僕は、原爆のすごさを知りました。ですが、
今日お話しにいたっていて、平和記念資料館にお
のは、ほんの一部で、今日お話しにいたったおかげでより、
原爆の 強さを 知る ことが できました。たとえば、
原爆は 3.2mもあり、 約4tの重さがあることや、原子爆
弾投下都市に条件があったこと、爆発した時の中
心部分が 10万℃で 毒面部分が 7000℃これは太陽
の表面部分の 約1000℃と多いという ことに、びっくりしました。
あと、広島市の心 5万人にたいし 被爆者 数 24万人死者
数 4万人という、たった一木幾の 飛行機で 2つの爆
弾でこのような多くの人々が、亡くなられた ことに
おどろきました。それを多摩市の人の話を聞いた時、市
のほとんどの人が死んでしまったと思うと、もう画でし
かないではないで、この世、日本で、世界で、にこんなよう
なことを起こさないようにしよう、あらためて思ひ
ました。貴重なお話しありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私はまず、原爆を落とす候補の中で、一番の候補が京都だった事におどきました。

理由は、現状、原爆が落ちたのは、広島と長崎だったからです。次に私がおどろいたのは、原爆の温度です。

原爆が爆発した直後の温度が、中心で

$100万^{\circ}\text{C}$ にも表面の温度でも 7000°C に

なり、鉄が溶けるのは約 1500°C 、地面に落ちた時でも、 3000°C にもなることにおどきました。

理由は、 100°C の湯で、やけどしたのに、原爆の温度はその30倍の温度が全身に降りそぐことになる事、

おどきました。最後におどろいたのは、原爆の衝撃波の速さです。自分は毎秒約5.6mなのに、衝撃波の

スピードは、毎秒4440mだったからです。理由は音速が340mなのに、それよりも100mも速く、それに加えて、

熱風がくると考えると原爆は恐ろしいです。

自分が思った事は、二度と絶対に、戦争をしないでほしいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受講して、
原爆がすごくこわいなと思いました。
なぜなら、月がとけてしまって、
ほねの近くまでやけて、体がはれ
あがったりするなどがすごくこわ
い、やばいなと思いました。
た。

いちばん心に残ったのは、
原爆の温度が7000℃の時、太陽
の温度が6000℃だから、それよ
りも熱いということ。一番つよ
くおされたのが京都で、理由は、
はかいの結果が分かるからとい
うところです。

私は、最初ぜんぜん戦争のことも
ひ、おいちゃんがいてギリギリだったこと
ぐらいしか知らないし、ばくだんのこともし
らなかつたのです。こし気になりました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは、原爆先生の授業を聞いて、原爆の知らないところにきついた。

げんざくを
とろの中心が160℃で、
いいあついとあった。まわりの
なつさでも17000℃ですごいあついとあった。

600℃はなれたところでも3000℃ですごいあつかった。ほかには原爆を落とすところ、五ヶ島、こぐら、長崎、きょうと、にいがた、よこはま、で、すごいあつた。ほかには、T型の

の橋があるところをいじめてしまった。あとは、げんざくをおとしたときの五島の天気があつたのを初めて見た。げんざくさんといはなしてきいて、こしげんざくについてくわしく

あった。原爆先生の授業を受けて、こわかったけどすごいあつたのについて、れきいについてあこしきょうみをもったきがする。また原爆先生の授業を受けたい。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私はもともと広島や長崎へ行ったこともなく、原爆について、ニュースで拝見する事や、社会の時間で少し調べる事しか出来ていませんでしたが、原爆先生の特別授業を受講して、ニュースや社会で勉強している時には分からなかった本当の様子をあらためて目の当たりにしました。

そこで見た原爆とは本当に恐いもので、原爆が投下された時、外にいた人は、一瞬で消えてしまい、その人がいた所には、黒いかげだけが残っていたほどの威力があったということでは、その一瞬で、原爆が投下された場所の近くにいた人達の未来が途切れてしまうと考えると、なぜ日本は原爆を打たれないといけなかったのかな、なぜ戦争をしなくてはならなかったのかなど、とても胸がしめつけられるような気がします。

また、被爆から80年、私の身の回りの人、私の家族などには、被爆を経験した人は、1人もいません。そんな中、今回の受講で知る事ができた、原爆によって亡くなってしまった方、原爆による放射線などで、後遺症が残ってしまった方の経験を次の世代へ、また次の世代へと受け継いでいき、もう二度同じ事の無い世界にしていきたいと思います。ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

みました!



きもと

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日

私は今日の特別授業を受講して、インターネットでは見たり聞いたりできない映像や体験を見たり、聞いたりして普通の授業では学ぶことができない知識を学ぶことができました。例えば原子爆弾投下都市の条件や原子爆弾投下の候補になった都市は広島と長崎以外にも京都や小倉があるということが分かりました。私たちの世代は戦争を体験したことがありません。また時が経つにつれ戦争がないの ことについて話してくださる人たちがいなくなってしまうので私たちが戦争の残さくさを知り、被爆者の戦争をしないという思いを受けついで後世にも伝えていくことが大切だと思います。また、世界では戦争が起こっています。戦争では、多くの命をうばってしまい自分の家族や友達も失なってしまう。なので私は自分たちや後世の人々が安全、安心に暮らすために、戦争の残さくさを後世に伝えて、多くの人が

原爆先生の特別授業を受講し



※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

一瞬で骨も残りず消えてしまうなんてとても
こわいな、と思いました。

今 私たちが平和に楽しく生きられて
いるのは原爆での犠牲があつて
こうして生きられているので感謝して
生きていきたいです。

最後のいいちゃんが話しているところ
がとても、辛そうですごいことを経験
をしていたんだな、と思いました。後遺症
にも悩まされている人がまだいると思
うし、心が苦しくなりました。

この話はずと後世に伝えていかなきゃと思います。

ときどきこの原爆のことを考えた時は
被害にあった人とかいたいをしりする時のこと
を考えたりしてなくてこのよしろうさんおじいちゃんの話をもっと
大変な人だなと実感しました。

もう二度こんなことを起こさないようにしない
といけなからこの原爆をおとされた日のことを

忘れてはいけなから、と思いました。みんな、ありがたうっばい、ナ

原爆先生の特別授業を受講して

みました!!



※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日

私は今回の原爆先生の特別授業で、今まで
知らなかったことがたくさん知れました。あと、
その時の様子を詳しく教えてくれたの
で、どのくらい原爆が怖いことがよく分かりました。
たとえば、日本にだったか広島と長崎に原爆が
落とされたけれど、他の候補で小倉(今では北九州)
や横浜、新潟、京都も候補に入っていたこと
聞いて、かどろきました。あと、もう一つ知ったこと
ういたことがあります。それは、広島に原爆が落と
された、そのとき(昼間)広島には35万人もいた
のに、原爆が落とされて被爆した人が24万人
(広島にいた人の70%)もいて、亡くなった人
が14万人もいたということです。それに、死
亡率が40%で5人に2人が亡くなったことを知り、
原爆がすごく怖いことだと分かりました。この授業で
原爆が怖いことが分かったことで、そう二度と
広島や長崎のように原爆が落とされないような
世界になっほしいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

みました!!

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)



ほぐはさいし原爆 くドームがあれほど凄
くとは思っていませんでした。

9月2日に原爆先生から聞いて一番印象的に
残ったのは、約7000°と言うものすごい高温の
でした。そしてちゅうには3000°ともの温度がしゅうい
に一瞬で広がると思うと、驚いてたまりません。
原爆先生が兵士 のときによくにげださないうて
たちおがたと思いました。ぼくなんかは手をもて
スルッとしたらトラウマでせうたいにたちなおれま
せん。しかも亡くなった人かっしではあるがなんてメン
タルがすごいと思いました。そしてさいごのえい
そうからしておごいせんじょうがグロく地獄だった
とかんじられました。それでもうーこおどろいたの
は、手を前にして歩くことですね。なせなら一番バニ
ックになりやすいのに、れいせいで歩く方法を考え
たなーと思いました。なのでせうたいにこれから
日本でせんそうをせうたいにやらないとい
ちがいました。そして未来の人にも原爆がどれほど
すごかったかおしえてあげたい風がほしい

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を聞いてみて、私は、
原爆の原子爆弾を落とす都市の条件が3つも
あることを知れたし、爆弾には、4tもの重さか
あり、表面温度は、7000度もあり、中心の温
度は、100万度をこえていて、びっくりしました。600mも
はなれているのに、地上の温度は、3000度
もあり、おどろきました。原爆が落ちるちょ
くせんは、空が真赤になり、空気がなくな
ったことを知って、空気がないと生活が
できないし、一瞬でも空気がなくなるのは怖い
と思いました。私は、原爆先生の授業を
聞く前までは言わしくは、全然知らなかったけど、原
爆先生の授業を聞いたら、聞く前
よりも、原爆についてより分かって、温度は
太陽の温度を30倍以上にも上げて、
太陽の温度は、1番熱いと思っていたので、予
想より熱くて、おどろきました。今日は広島についていた
けど、今度は自分で長崎県の原爆について調べたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受けてうちは、

本当につらい戦争なんだなって思いました。

15〜17才?から戦争の場に出て原爆で亡くなった人の死体、皮がやけてエグれた状態で骨まで残ってとても人間とは思えない死体をはこんだり...

自分は死体などにはさぶのはとても躊躇をして

しまいそうなので上からの命令で死体をおんぶしてはこんだのはとてもすごいなって思いました。

原爆を経験した人がその目について説明するとき泣いていて原爆と言いや戦争と言いまだまだ子どもなのに任せるのは今じゃ考えられせん...

5人に2人死んでいて広島の人口の40%が亡くなっていることが初耳で一番おどろきました。

自分がもし戦争がある時代に生きていたらじわじわ死んでいたりやけどが痛いままなのはいやなので自殺すると思うので原爆を経験して最後まで生きのこった人達はすごいなって尊敬します。

本当におつかれさまでした。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の話を聞いて、初めは少し難しい話だと思いました。

話は中々と進んだけど、すぐに終わった感じがしました。

こわい写真や映像はなかったけど先生の言葉を聞くと、焼けた町や苦しんでいる人の様子が頭にうかんできて少しこわくなりました。

先生の話し方が落ち着いていて、聞きとりやすかったです。

原爆の温度が7000度になることや、爆風が強かったことを聞いて、びっくりしました。

ふだんの生活では考えないことなので、平和の大切さを改めて感じました。

私は、難しいことをあまり考えないけど、この話は忘れないようにしたいです。

もう少し戦争や原爆について調べていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の授業を受ける前私は、原爆は
たくさんの方のことをきずつけたこと、広島と長崎に
落とされたことくらいしか知りませんでした。けれ
ども原爆先生の授業を受けて、人々かどの
ようにきずつけられたのか、原子爆弾投下
都市は、他の都市だった可能性があった
ということなどいろいろなことを知れました。
そしてより原爆の恐ろしさ、戦争の恐ろしさを知
りました。また原子爆弾をもっている国が九カ国
あり、核兵器拡散条約を結んでいるのは、
五カ国だけだそうです。またこの悲惨な出来事
がおこらないでほしいです。そして一人でも多くの人がこの
出来事を知って戦争がおこらなくなってい
ほしいです。今回、原爆先生が教えてくだ
さったことを
あすれないように生活していきたいと思います。
大切なことを教えてくださりありがとうございました。
今度は私が弟に今回ならたことを教え
ようと思います。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は最初広島県と長崎県に原爆が落とされたという事しか知りませんでした。ですが今日の特別授業を通してたくさんの事を知り、少し原爆に興味を持ちました。今日の授業で心に残った事が2つありました。1つ目は原子爆弾の熱さです。太陽の表面よりも熱い7000℃という事を聞き、私も暑くなってくるような温度でびっくりしたので心に残りました。2つ目は広島市の人口の5人に2人が原子爆弾で死亡してしまった事です。5人に2人と聞いた瞬間心に何かかさった感じがしたので心に残りました。重力画の最後に原子爆弾が落とされた直後の映像と今の映像を比べた映像が映し出され、原子爆弾で亡くなった方々に見せてあげたいような少し私の気持ちの変化あったような気がしました。今日の特別授業のおかげでたくさんの事が学びました。おいそかしい中今日は原子爆弾の事を色々教えていただき本当にありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受けて原爆のおそろしさに気が付きました。たゞはたっただけの原爆でも爆心付近を焼け野原にしてしまうほどの威力があるとは、本当におどろきました。原爆の爆風や熱線でも人の命をおそろまでとがすとは思いませんでした。実際に被爆した人を見ると、なんと外国はこんなことをした人だろうと思いきや、被爆した人のうでや足を持つところや足のひらきが抜け落ちるところが、本当におどろきました。自分が被爆者だと思えば、川を泳ぎながら止まりません。被爆者のことを思うと、どれだけ苦しかったか、どれだけ辛かったか、もちろん被爆者の遺族も被爆した人と同じ苦しみを身でも持っていると思います。太平洋戦争終戦から80年たった今でも、あの日のことを覚えている人もいます。今回は特別な時間とありがたうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受講してほくは、
やっぱり原爆はとっても危ないしこわいなと
思いました。なぜなら、表面が7000℃、中心が100万℃
もあるというのが、一番こわいと思いました。
他にも、熱が毎秒440mの速さで熱が
自分にきたらと感じたら、死亡率が40%(14M)も
いるということがすごくおどろきました。

今回の特別授業で一番勉強になったことは
原爆に名前がついていたこと、原爆が
4トンもあったということです。

なぜなら、原爆に名前があると知らなかったし、
わざわざ名前をつける意味がないなあと思
ったからです。しかも、原爆が4トンもあると

よく飛行機に入れたなという感じや

4トンもの爆弾が広島と長崎に落ちたと

考えると本当におそろしいことだなあと思いました。

日本がもう二度と戦争をしないという法律の

ありがたみを改めて感じました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日（火）

原爆先生の授業を受ける前が原爆という物は知っていましたが、
原爆の本当の恐ろしさが分かりました。中でも原爆の
被害の大きさが心に残りました。皮膚がただれてはが
れ落ちたり、全身に大やけどを負い、軽傷だとしても失明
したり後遺症などが残り今後の生活に影響するなんて知り
ませんでした。傷々しいなど生々しい言葉では言い表すことが
できないと思いました。僕たちは被爆したりしたわけでも
ないですが、その原爆の恐ろしさが伝わってきました。なので、原爆を
体験したことがないからこそ知るべきかと思い、またそれを伝えて
いき風化させることのないようにしたいと思います。僕は授業を受
けるまでに、原爆について怖いものということでは知っていましたが、
ここまでの物とは思っていません。軽く思っていました。授業の体験
談や画像などを見て原爆の怖さは想像以上の物ということ
が分かりました。今日は本当にありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原爆について、少し知っていましたがくわしくは
知りませんでした。お話を聞いたとき、自分の家族や友達
を思い浮かべて急に怖くなってしまいました。でも実体験し
た人は、私たちが考えてる以上にこわかったと思います。
映像をみて実体験をした人は「こわい」「音」「人の声」など、どれほど
こわかったか。毎日おこして、ごはんを食って笑えるのも一瞬でこわれ
ました。そのことを想像すると、戦争や地震などがおいても
分からないことを改めて痛感しました。私は実際に広島や長崎の
平和記念公園など行ったことがあり、資料館をみて、これは本当に実
体験こんなに残酷なのかと思いました。でも今日話を聞いて
体験した人は「きれい」などを語っているのを聞いて、資料館でも表し
きれないほど、残酷で恐怖だったか考えるだけで、ぞっとしま
した。原爆の話を聞いて、戦争や原爆の怖さをしっかり
心の中にいれて、本や資料だけでは伝わらない本当の
辛さがあると思いました。原爆の話をたくさんの人に
伝えて、原爆はこんなにも恐しいということを語る
授業を増やして本当に体験した人の恐怖は分からないかもしれな
いけど、日ごろに感謝しようと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、もともと戦争の事をあまり知らなくて、ただ「家族や、大勢の人がうばわれる理不尽な物」くらいにしか思っていませんでした。けれど、原爆先生の授業を通して、理不尽な物や、悲しい物などの言葉じゃ表す事ができないくらい悲惨だということが分かりました。国民は死ななければいけないことを一切していないのに、国を代表する者同士が争いを起こし、何十万人もの国民が亡なってしまうのはおかしいことだと思いました。私のおばあちゃんが戦争中に生まれたのですが、おばあちゃんの身近でこんなにも恐い事が起きていたのかと思うと、ゾッとするし、おばあちゃんが生きていて良かったなと思ひました。授業の中で、原爆によってやけどを負った人の皮膚がたれ下がる様子をイラストで書かれていましたが、それでもすごくこわくて、もし実際自分が家族がその姿になったら、どうなってしまうんだろうと見ていてこわくなっていました。いつ戦争が起きてもおかしいはずの世の中なので、原爆のことを知れて良かったと思ひ、これらがあってこそ、今があるわけなので、そのことを忘れずに、後世にも伝わっていったらいいなあと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、今回の特別授業を通して、知ったことは、二つあります。

まず一つ目は、原子爆弾が、太陽の光よりも、ものすごく温度が高いことがわかりました。私は始め、太陽の光の方が、温度が高いと思っていましたが、爆弾の方が、温度が高いことを初めて知ることができました。

二つ目は、原子爆弾は、上空600m地点で、爆発することです。私は、始め原子爆弾は、上空何mで、爆発するんだらうと、思ってもいなかったもので、今回の授業で学びました。

私は、今回の特別授業で、想像のつかないほどのことが起こっていた広島原爆の悲惨さを知ることができたので、これからは、学んでいこうと思えました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆を落とす目的地みたいなところは広島と長崎だけかと思、ていたけれど、広島と小倉と長崎と横浜と新潟と京都が候補にな、ていたことばび、くりしました。しかも、一番だ、たのが京都だ、たのに、文化とか日本人とかこれからのことを考えて京都が除外されたのが、アメリカ人も分、か、ているんだな～と思いました。原爆の中、バのところが 10000°C で、周、りのところが 7000°C というのが、頭が良、い人が作、たんだ！と思いました。爆、バ地の近くにいた人が黒、いかげにな、った動画を見て、や、ぱりんは 3000°C とかではすぐにとけてしまうことを、改、めて実感しました。はじめて知、たのは、全身が暑、くな、て手を歩くようにふ、ていると、暑、く、てゆ、き、ら、迎、が、い、たいから、手をな、な、の、前、に、し、て、歩、く、の、が、ゾンビみ、た、いでめ、ち、や、め、ち、や、こ、ゆ、か、た、で、す。その歩、き、方、を、し、て、い、る、人、が「兵、隊、さ、ん、助、け、て」と言、て、兵、隊、さ、ん、が、助、け、た、ら、ひ、ふ、が、暑、す、ぎ、で、と、け、て、し、ま、う、と、聞、い、て、1、発、の、原、爆、で、こ、ん、な、に、ひ、ふ、が、と、け、る、と、い、う、こ、と、を、知、り、ま、し、た。亡、く、な、た、人、を、運、ぶ、と、き、に、ほ、ほ、骨、の、人、の、顔、を、あ、ん、な、も、あ、ま、り、見、た、く、な、い、し、正、直、運、び、た、く、な、い、の、で、兵、隊、さ、ん、は、す、ご、い、大、変、な、事、だ、と、改、めて、実、感、し、ま、し、た。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

自分は原爆く先生のお話を聞いて戦争へのイメージがさらにみにくいもの
に変わった。今まで「戦争はたくさんの人々の命をうばったんだよ」というお話
は何度も聞いてきたけど、実祭の戦場のイメージが思いつかず、「戦争が
つらかったんだよ」ということは分かったけど具体的に何が?」と思うことが
あつた。今日の原爆く先生のお話は動画やイラストがたくさん説明
に使われていて本当に原爆くが落ちるそのしゃんかんまでみんなふつうにくら
していたんだな...」と動画だったけど少し実かんすることができた。
もう一つは「原爆くのいりよくについて」のお話を原爆く先生にもらった。
原爆くがばくはつたその時の中心部分の温度が100万度をこえていて太
陽も全然暑かったんだ...と思ってもびっくりした。もし自分が広島の前爆
くがおとされた場所にいたと思うとやけどのいたみや想像を絶する
暑さを考えると体が身ぶるいしてしまうほど戦争がとても怖く感じた。
今回の主人公のよしぞうさんはあんな過刻な中で生きぬいたことがと
てもすごいと思った。これから世界の平和大切にしていくためには、
戦争のことを自分ごととしてとらえること、また原爆の後遺症が
残ってしまっていてまだ元気に過びせていない人がいることを忘れ
ないようにしたい。そしてどうしたらもっと平和な世界をつくれるかどう
かを考えていきたいと思っています。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は広島と長崎に原爆が落とされたことをしてはいたけど具体的な出来事はしなかったのて、べんちやうになりました。ぼくは広島と長崎以外にもおとすところがあることについてびっくりしました。さらに原爆の中心部温度が太陽よりもかいうわめられていることにもびっくりしました。私は夏休みから人権の事について言月々してきました。みんなの考えに戦争という言葉がでてきています。思ったのが戦争をしてはいけないうえに今日も同じことをなしている。かという戦争をして人がなくなる変わりにならうとが拡大するからでも人がなくなる方がたまたまからでもさらに戦争をしかけた国の中にはせぬ国が好きな人が居ません。だからこそ戦争をすることはいけない。正しい原爆を作る知識がなくなるとますます怖いのはなく人を幸せにする人がいなくなる。私が大人になる。選挙に行った時に戦争をした人を見たい。今のように他国と仲よくしてほしいです。たつて40%の死亡率はとても高いのでしかけてはならない。いう事を心にざみます。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原爆が落とされた時のおそろしさを知りませんでした。でも、今回の授業の動画で当時のじょうきょうを確認したり、どれだけ人々が苦しんでいたか分かりました。皮ふが原爆のせいでどろどろになったり、放射線にあたりすぎて病気になってしまったなんて想像もできないくらい大変だったんだと思いました。しかも、原爆の中心が100万度で表面が7000度、表面だけでも太陽よりも1000度暑いなんて信じられませんでした。動画を見た中で一番心に残った部分は、原爆が落とされたしゃんかんの映像でした。一気に黒いけむりが空に上がって行って辺り一面真黒になり、建物がこわれてしまったのがとてもしょうげき的でした。がんばろうな建物があとかたもなくなくなってしまうなんて、相当いりよくが強くあったんだと気づきました。私が住んでいる町がこんな大変なことになったら絶望的です。原爆がこんなにすごい火暴だんだなんて思っていなかったのですが、この授業を通してどんなに大変でつらかったか当時のじょうきょうが分かるようになりました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくが原爆先生の授業を受けて、おどろいたことは
原爆の爆発の表面温度が 7000°C と太陽よりも温度
が高いということでした。ぼくは太陽よりも熱いなど
で想像もできません。しかも、爆発の衝撃で 3000°C
の熱風が吹いた事を知りました。その原爆で14万人
の人達が死んでしまいました。14万人は当時の広島市の
人口の半分近くにもおよぶので、原爆1個でこんなにも
たくさんの命が失われてしまったのだと資料を見て実
感しました。現在、ロシアやウクライナが戦争をしていま
すが、原爆のような悲劇が起こる前に戦争をやめて
ほしいなと思っています。今回の原爆先生の授業を
受けて、ぼくは初めて原爆のおそろしさについて実
感しました。この世界から原爆が無くなれば、たくさん
の被害者を出さずにすむと思います。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、昨年広島に行き、原爆ドームに行きました。

広島に原爆を落とされたことは、知っていたけど、詳しくは知りませんでした。

80年前に4万人の人がなくなっている知ったとき、すごく心がいたみました。

そのときは生まれていなければと、それだけ苦しかった。映像を見ただけでわかりました。

太陽をこえる暑さ「7000」を聞いたときはすごくおどろきました。

ひろ、かがはがれてものすごい、いたみはすなわに安全な場所にはいようと、歩いているのを見たとき、心がもったいたみました。

私がかもしその時代に生まれてきていたらこわくて動けなくなってしまうと思いました。

本当に80年前におきたことだと思おうと、本当にこわいなとおもいました。

この話をきいて原爆は、とってもこわいなとおもいました。

今年も広島にいくよていなので、そのときは原爆しゅうかんにいきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

はい、おい、な、と、思、い、ま、し、た。な、ぜ、な、ら、原、ば、く、の、
ば、く、ハ、エ、サ、に、い、た、ん、は、ち、り、に、な、っ、て、い、た、か、ら、
じ、う。そ、れ、に、ば、く、ハ、エ、サ、の、近、く、に、行、く、に、つ、あ、
人、の、开、く、を、し、て、い、な、か、た、う、な、の、で、原、ば、く、は、
之、れ、に、死、亡、者、が、た、く、さ、ん、出、て、と、て、も、悲、
し、い、で、す。じ、か、し、な、ぜ、原、ば、く、が、お、と、さ、れ、た、の、が、
が、分、か、た、で、よ、か、た、で、す。因、に、ほ、く、は、原、ば、く、
先、生、の、授、業、を、受、け、て、思、っ、た、事、は、広、島、に、
原、ば、く、が、落、ち、た、事、で、た、く、さ、ん、の、人、が、
亡、く、な、っ、て、悲、し、い、反、面、落、ち、た、理、由、も、
分、か、た、の、で、複、雑、な、気、持、ち、に、な、り、ま、し、た、
で、も、原、ば、く、を、落、し、た、理、由、な、ど、が、
分、か、た、の、で、本、当、に、お、り、が、う、ご、さ、い、ま、し、た。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原爆先生の特別授業を受けて、戦争のおそろしさを改めて実感しました。

広島県に原子爆弾が落とされたことは知っていましたが、日本に2回も落とされていたということは、初めて知りました。

実際に第2次世界大戦の原子爆弾を生き残った人の言葉は説得力があり、話すことの「間」を意識するように話してくれてこちらもしが入ってしまいました。

私はこれまで戦争や原子爆弾についてあまり知らなくて、どんなにすごい物かよく分かっていませんでした。

けど、今回の授業で原子爆弾はしょうげき波が毎秒440m。原爆での死亡率が40%もあると分かって、原爆の怖さを知りました。

私は今回の特別授業を体調不良で前半の45分間しか受けられていませんでしたが、それでもその時の怖さや不安がわかった気がします。

戦争は多くの人が悲しいことになるので、なくなってほしいです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、原爆のことをあまりよく知らなかった
ので、今回原爆先生に教えてくださる機会
をいただけて、とてもありがたいと思っ
ているし、聞けて良かったと思っています。話
を聞いてみて、今こんなに平和な日本で
も、昔こんな怖いことがあったんだと実
感することが出来ました。実際に戦い
に行く兵隊さんも怖いだろうし、被害に
あってしまった市民の人達も可哀想で仕方
がないです。7000°ってどのくらいだろうと
思っていたけど、太陽よりも1000°高いと知って、
そんな物が落ちてきたら、確かにとんでもない
ことになるなと思いました。原子爆弾投下
都市の条件を見て、すぐ東京が当てはまっ
ないか確認したくなりました。もうあんなこと
が起きてほしくないし、戦争によって苦しむ人
がもう出てきてほしくないです。私は、今日知った
ことを、今後いろいろな人に伝えていきたいと思
います。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、今日受けた授業で学んだことがたくさんあります。その中から3つかきます。

1つ目は、もともとアメリカが原爆をおとそうとしている候補が6つもあることを学びました。

最初は、広島と長崎しか知りませんでした。

でも、今回の授業で候補に横浜に新潟それに京都が入っていることを知ることができました。

2つ目は、原爆が火暴発した部分の中央の所は、 100°C で、外側は、 7000°C もあることが、この授業をうけてわかりました。

授業を受ける前は、そんな温度がいたかいとは思っていませんでした。でもこの授業を受けてその温度を知りヒックリしました。

3つ目は、エノラ・ゲイが原爆を4kmも手前でおとしたことにおどろきました。

4kmも手前からおとしているのに、目標地点から200mしかはなれていないことにヒックリしました。

今回の授業で色々なことを学びました。ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原爆先生の授業をうけて戦争は、してはいけないものだと改めて感じました。また、原子爆弾は絶対に使ったりしてはいけないと感じました。また、原子爆弾を人がうけてしまうと人間の原型をもてうれなくなることを知りびっくりしました。原子爆弾の中心温度が100万℃近くいて表面温度が太陽より1000℃高い7000℃ということを知りびっくりしました。原子爆弾をおとされると被爆した人の約40%の人が死亡してしまうと聞き原子爆弾はすごく危険な物だと感じました。私はユーチューブなどでよく見る原爆雲はどのようにできているのか知りたいと思っていたのでこのように原爆雲についてよく知れて良かったです。今後この授業をうけて、戦争や原子爆弾は、絶対にしてはいけないことだと他の人にも伝えていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受講して自分は、
初めは原爆としても、そこまで危ない物なの
かというかわからなかったが今は原爆という物
は、おそろしく極めて危険な物であるということ
骨身に感じました。そして、原爆がなぜ危険であ
るのかということをおしく教えてくれたことがき
かけとして自分の心の中に深く刻まれました。

そして、これからは原爆や、そのような事を引き起こ
している戦争はあやまってでも起こしてはいけないということ
を知らしめ、~~今~~がやぐまれて平和であるということ
自分なりに広めて後世に伝えるように努めて
いきたいと思っています。今回の特別授業は
自分に通して、日常生活では感じることもないことを
教えてくれる機会となって、新せんで考え方を
おどろくほどに変えてくれて、人生の中で一度しかない
新しい事実を知ってビックリしました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、原爆先生の授業を受けて、原爆というのは、たったの一瞬で、何十万人という人を殺めてしまうということを改めて痛感した。また、爆発時、中心部は100万度まで達し、丹の周りでも1700度があり、スカイツリーの第2展望台ほどという例を聞いて、とても生きていけるものではないと思った。そして、地上でも3000度があり、金魚がとけるのは、約1500度であるため、一瞬で周りにある鉄は、とけて蒸発状態にも聞き、だから、あまり外かんが残っていないかったためだと思った。原爆投下目標地点として、相生橋が選ばれたのは、丁字型で落とすのに最適だからだと知った。原爆投下地には、京都を推されていたそうだが、京都1200年の歴史を壊すことで、日本が降参した時に、多くの人から反感を買ってしまう理由があったため、原爆投下地には、選ばれなかったということを知った。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原火暴先生の特別授業受講して、
原火暴は二度とあってはならない事だと
あらためて、実感しました。

なぜなら、私は去年原火暴資料食官に行き、
資料につれ、原火暴の無情さ、悲惨さ
を目の当りにしたのですが、義三さんが

原火暴資料食官はまたやさしいと言っていたため、
資料食官の資料以上の悲惨さとは。
と、私は感じたからです。

そして、義三さんの糸至馬寅が、今回の特別
授業についても、せぬいに、伝えられました。

あらためて、原火暴という、悲惨で無情
な事を二度と走已せなないために、
単戈争を無くすことがとてもとても大切
だとしみじみと感、いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、原爆がどのようなものかは知りませんでしたが、今回の授業で原爆の仕組みがいまよくわかって、実際に体験した人の思いなども知りました。

原爆の中でもおどろいたところは三つあります。

一つ目は原爆の威力は、はかり知れないほどの物だったことです。なぜなら原爆の中心は1000℃、原爆のまわりが7000℃、そして爆心から500mほどは3000℃とすごく温度が高かったからです。

二つ目はアメリカが原爆を落とす候補におちるところで、原爆が落とされたから、京都が一番ねらわれているところ。意外と、落とす候補という物があるということを知り、最初から広島や長崎に落とすと思っていたからです。

三つ目は原爆の大きさや重さです。なぜなら4トン重いの、大きさが3.12mしかありません。これを知っただけで、中にいろいろとぎゃっとしきつめられていることが想像できます。

今回の授業で、原爆のことがよくわかって、戦争ができて、もう戦争はいやだと思いました。まずこれらのように、世界に知ってもらって、戦争をなくしてほしいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今日は原爆についての授業を受けて、戦争の悲惨さや命の大切さについて改めて考えさせられました。広島や長崎で多くの人が一瞬で、命を奪われた事、そしてその後も後遺症や差別に苦しんだ人たちが居た事を知り、言葉にならないほどの衝撃を受けました。戦争や核兵器は二度と繰り返してはいけな物だと、強く思います。生き残った人の話を聞いたりして、恐いと思いました。特に子供達が被害に巻き込まれたのが、心に残りました。しかも原爆は熱いし、衝撃波がすごかったことを聞いて自分たちもいやだと思いました。自分はあまり戦争とか原爆の事について、考えだすことがないから、この特別授業を受けてよかったなと思いました。これから、自分が知らないことをしていきたいです。今日は来てくれてありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくが原爆が広島と長崎に落とされて被害が大きかったことを知っていましたが、原爆先生の特別授業というものでその時の状況をくわしく説明してくれた事で分かりやすかったです。

最初にあった「1000人の少年」というタイトルで「どういふ事なのか」がよく分からなかったけれど、最後まで原爆先生の説明を聞いておかげで「1000人の少年の意味と原爆の影響や恐ろしさが分かりました。」

中でも原爆のリトルボーイが糸勾47秒もあって、その爆発が起き地上が3000人の火傷を負った人たちがいて「死亡率」は40%もあり、さらに原爆の衝撃波の速さが音速の340m/秒よりも100m/秒深い毎秒440mもある事にびっくりしました。

そんな恐ろしい原爆が広島と長崎に落ちた事を考えるとこれからは原爆などの物が無いようになると良いと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私が原爆先生の特別授業を受けて、まず最初により、
どうも見て、思った事は、広島県の人たちばかりにもしらずに、
原爆が落とされたということかととてもびっくりしました。
しかも、しっかり場所などを計画して、2回も原爆とあつた
たということは、はじめてでした。

話を聞く前は、なんとなく、戦争のことや原爆のことについ
て、ということは分かってはいたけど、原爆先生の話をきいて
て、イメージがとて、残酷な感じがしました。

話を聞いていくうちに、だんだん原爆を知っている人たちの被害に
あった人たちの悲しさとか、感情がよく分かりました。

私は最初ニュースで、よく原爆の事をきいて、ニュー
スでは、分からなかった事も先生の話を聞いて、「なる
ほど!」と思う事が多かった。たゞあの雲はなせきのこの
形になるのかとか、爆発した時の温度が、地上で、3000℃といふ
事も「そんなに熱んだ」と思っていました。爆発の中心あたりは、
100万と、太陽よりも、熱い温度ということを知ることが
できました。こんな自分にとける事は、みんな人それぞれに
話して、広める、伝えていく事ができると感じました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは原爆先生のことをよくしなかったけどこの授業をう

けて一番いいところには思ったのはさうたいのまんどぶとかが

で中が10000℃というところをしっかりとしました。

そのほかにもじゅうくろ600mでいちどじゅうげきはかおきて、

いぬにフリエカでまたじゅうげきはかおまたのモーター

くりしました。

それに原爆先生がおちてもおちても3000℃というおちたのも

れはいいとおもいます。またじゅうげきは7000℃でまたおちても7000℃

でまたじゅうげきは約6000℃と書いたのです。ううのまんどぶのまんどぶが

おちたおちた約3000℃と7000℃というおちたいてい

おちたおちたのじゅうげきはすきです。

さいごに、人が原爆先生ですぐにとけたのに、

だんにはすわっていたおちたおちたのかすきとおも

ました。

ぼくは、原爆先生でたくさんの人になつたのはいい

けどなつた、た人の数はさよそな島だけでおちたおちた

おちたおちた、たみたいで、そんなになつたおちた

おちたおちた、たのでこれをまいてかきかいたです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、原爆について話を聞いてしょうがきを受けました。

1945年8月6日、広島に、そして、8月9日には長崎に

落とされた原子爆弾は、一日で町を焼きつくし、

多くの命をうばいました。ただの原爆ではなく、

人の一生や未来までを破壊してしまうものでした。

太陽よりも暑く、おかしな人で、人が消えてしまうとし、
小怖くなりました。

特に印象に残ったのは、被爆した方々の証言です。

真っ黒に焼けた町をさまよっている中、傷で苦しみ、

なくなった人たち、その中には、自分たちと同じ年れい

の子どももいると知りました。

せん そうや、原爆は、「昔の出来ごと」ではなく

今も苦しんでいる人がいて、忘れてはいけな

現実だと思いました。

今、私が学校に通い、友達と話したり、家族と

過ごせることは、本当にありがたいことだと思いました。

その日常をあたり前だと思わず、感謝の気持ちを

忘れずにすごしたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受けても、と原爆のことも分
たと思います。最初は広島県だけに原爆がおとされ
ていないと思っていたのですが、原爆先生のお話
を聞いて長崎にも落とされたことが分かりました。
原爆はとても湿く太陽の表面よりもあついこと
が分かりました。東京スカイツリーの高さ
で、ぼくはつたことが分かりました。

自分はこの話を聞いて自分は平木にす
ているのがすごく分かりました。エラゲイの名
前はまのお母さんの名前だというのを
しれてうれしかったです。ぼくは奈良
県にすんでいたのですが、6年生の
びゅうがとりにこうで広島にいたの
で、すか、いけなかつたので、こうか
します。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは、原爆について6年生の授業で習いましたが
 あたためて、原爆のおそろしさを理解できました。
 第二次世界大戦で日本は世界を相手に戦わねばなら
 なくて相手に向けて特別特攻という自滅行為をするとい
 った。原爆が広島県に落ちました。落ちた直後に熱線や衝撃波
 が一気に広島県に落ちて一気にほかのいしていき死者が14万
 人、それは死亡率が40%の5人に1人が亡くなりました。
 そして亡くなった者は全員全身大やけどをしていて傷口が
 はがれ落ちて、全身が黒いけいというのがぼくは少しびっくりしました。
 さいしょはムービーを見て、原爆ってなんだろうと思ったけど
 授業を通して原爆のことについてよくわかったような
 気がします。

広島県の他にも候補になったのが小倉や横浜新潟
京者Bがあたりそう。

死の中でも一番条件に合っていたのは京都府民だ、たろうです。ぼくは原爆についていろいろ知りましたが、その中でも一番心に残ったのは原爆で亡くなった人たちのうても前にずっと出ているのが不気味で、これ、所もあり、原爆で命を

波として入射する電磁波が媒質の境界で反射・屈折する。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は見て聞いた土也獄の姿を、今日はそのえす
書くことにする。まずこの地獄をえがいたのは人であ
るその人々は日本の文化財と人の命をあることが
にかけられて文化財も中々なくなるようなこと
人間である。さて、ここからは絶対にあきらめ
ならぬことだ。人々はいまだにひたすら上空のけしき
だ、ただ、死を覚悟したか、いや、ちがうだ。
人々は勝利の確信をひたすら「神」のいる国
と信じていたのだ。しかし、神がまたとよこした
のかもしれない。この1秒にもみえない時間
が、おぼろげとたちまち、けしきはか
うかいおとしはくはつ音が耳にとどく。これはまだ
認識もしていない。そして急ぐ。神などいらない。
神は人か、みだしたての原子爆弾。これは
あった。いかにも、ひにくた、人は神を生み出した。
人々をいたが、世を負けた。もうおぼろげか？人々が神
とてよい土也づくを生んだ。まさに、それはな
いか。私は思う。この世は本当に平和になるのか。

うしろにカガキ

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今日は来ていただきありがとうございました。

この前に少し原火暴の事を知っていましたが

今日、話を聞いてとてもびっくりして二度とおさで眠

たいと思いました。最初に見た重カ画をみていたけ

ら、つうに生活しているなかにあの原火暴が

落とされていた事や音がだじ大からたりして、

こんちのが本当に落とさずたにやと、びっくりしました。

他にも、語る、てした事の中にあつた、人間

のすかたではな分と聞いたときは、まなしになりました。

そして、原火暴の名前がリトルボーイということも

しりました。

リトルボーイがばくはつしたら、真空になって

上に上がる理由もわかりました。だから、長く

上がるのだとわかりました。

最後に、一度広島にへ行ってみたいになりました。

原火暴ドームの中を見てもって知りたかったし、

この上うなことがあつた事も矢つとかないし、

いけなしいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆のことをおしえてくださりありがとうございます。
ございました。

ぼくは5年生のときに原爆ドームに行き、原爆のことが気になっていました。

それでこの授業ができて本当に良かったです。
原爆のことをいろいろ知れて良かったです。
知らないことも知れたので良かったです。

ぼくが一番心にのこっているのはいろんな
人が大変なおもいをしていたところ
です。

他にも、原爆の温度を知れたし、戦士たちの
必死な訓練をしていて本当に素晴らしい
と思いました。

原爆の名前も知れたし、あっさもしれ
て良かったです。

すごく大変ということがわかりました。
特別授業ありがとうございます。
またきてください。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生へ

原爆先生今日は、きょうな体馬更ありがとう
ございました。今回の授業を受講して
気づいた事が気になったことがあります。
まずはじめていた事は、B29のエノラ・ゲイの
エノラ・ゲイという名前が、操縦士の親の名前
だと言う事です。

2つめに気づいた事は、原子爆弾の名前
がリトルボーイと言うことです。

3つ目は原子爆弾投下都市の条件です。

条件は①直径5Kmを超える事

②平野であること③空襲がなかった事
と言うことです。

夏休みに広島のおじいちゃんおばあちゃん
の家に行きました。行った時に原爆ドーム
に行き資料館にも行きましたけれども
先生の授業は知らなかったことが、たく
さんありました。勉強になりました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は原火暴先生の授業を聞いて、
かわいそうだなと思ったことは、皮が焼き
たたくて、どろどろになっているのがすごく、
かわいそうだなと思いました。また、階段
下に二しかけていた、兵隊さんのがしぐたが
が残るなんてとても驚きました。おに、
太陽の温度より高い、なんて、
どれほど熱いのだろうと思いました。
原火暴が火暴発した中心の温度は、
7000°とかいてありました。見た動画
を見たのですが、思っていたより、ものすごい
火暴風で、家など建物などが一瞬
でちりになっていたのを見て、もう二度と戦争
を起してはいけません。原火暴を落とすには
いけません。というのを心にしておきます。
義三さんが悲しみながら話していた
姿を見て、それほど、原火暴は怖くはないかと
思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくはこの原爆先生の特別授業を通して、
単戈争の事を、言聞べたり、原爆ドームに行っ
たりしてたんですけど、ぼくが知っている単戈争や
原爆はそんな生やさしい物ではないと分か
りました。この人にリトルボーイを落としたのは、
B2の爆撃機幾エラケイにのっていた、チベットは、た
んで自分の母の如前の爆撃機幾でよかったのか
か疑問になりました。自分の考えですが、その
時代は、「単戈争に行、2人派に死んでくんだよ
母がいつもいふからね」という意味合いたと思
います。投下されたリトルボーイは、4人もあると
知り、おどろきました。また、タイトルが「7000℃
の少年だったの」、少年が受けた温度が「7000℃
なのか」と思ったけど、「リトルボーイ」が少年という
意味と矢に気づくのか!」と思いました。
単戈争時、なにが天国か、今の暮らしとは
考えられないことをしていたと、鳥肌かたまり
しました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

僕は原爆先生の授業を受けて原爆の恐しさや歴史を知ったり原爆の温度や威力を知ることができて今までのためへの勉強になりました。原爆でもなくなってしまっ人数や、死もななどが知れました。

原爆の火暴発の恐ろしさがよく知れて楽しかったです。原爆ボムは、もともと広島県産業^博物館だと初めて知れました。原爆先生の授業を受けて、原爆が落とされる候補に入っている都市が意外でした。広島に投下された原爆「リトルボーイ」の長さは、3.12mもあって重さは約4tもあることを知りました。

原爆の衝撃波の速さは、毎秒440mだと初めて知りました。原爆は太陽の温度より1000度も高い17000℃だと知ってすごいなと思いました。原爆先生で勉強したこととをこれから生活かしていきたいなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私が、原爆先生のお話を聞いて、一番印象に残っている所は、京都も原爆をおとす候補に上がっていたことです。「原爆」と聞いたら、広島や長崎しか思いつかはないのでおどろいたし、京都に落とさないうくにしたのは優しいな、と思いました。

そして、怖いなと思いました。もちろん原爆が広島や長崎に投下された時生まれてはいませんが、にげる時間もなく、一瞬間で人が変わってしまう、そんな物があるだけでおそろしい、こわいと思います。

また原爆で人の命が失われたことが悲しいと思います。戦争もそうですが、命が失われることが人によってつくりだされているのがなんか悲しいし、私はその状況を知っているわけでもないから思っているのかわからないけれど、なんでそんなことしたんだ！と思います。もう二度と原爆によって命をなくすことがないといいなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆のこころを思うこともやだ"と思いますが、話してくれてありがとう
ございました。原爆の爆発した所は、外側でも700℃あって、家がある
所も、300℃あるから鉄がとけてしまう。と言う所におどろき
ました。義三さんも、落とされて、何が起きたのか分からないのに、
命令を聞いて、それを成し遂げたことがすごいと思います。

トラックが遅れただけで、助からたので、ものすごく良かったです！

私の妻が長崎生まれで、私の母や父が、ちょうど原爆が落ちるときに

海で泳いでいらしくて、二人が生きてくれて、今の平和な命があると

思うので、改めて、原爆の被害は、命の不切実を今日、特別授業を通じて、良く考えられたと思うので、良かったです。

元田川の川の中は、おどくたくらんの人がとっていて、その人たちが、

おれはもうたてゐることにせよといふ。11の4に入らぬと云ふ。たゞてゐるだけ

[illegible]

ことは、まだ、外気温が上がり、17℃程度。と書いていました。

原爆の著してから、いっしょにたのに、ARをぬいて、はたかになる

時間があつたのかな? と思います。その日が元々、他日よりもあつて

[illegible]

本当に戦争はこれから起こる。しかも、日本が先と戦争を挑む。と言ふ

の味、肌触りもよい。私はかたじけなく愛用して大にたいやんを、た

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の授業を聞いて思ったことは今年で終戦から80年なのもあるし、2013年に生まれた事もあり単戈争や原爆についてあまり認識していませんでしたが、実際に画像や映像を見ると原爆の恐ろしさ、そして広島^の落ちた後の悲惨さが感じられました。人間のひろがどろどろになっておちたり脂汁がたれていくのが特に印象に残りました。原爆先生が実際にその戸に上等生としていたのでもう一回映像を見てみるとさらに恐怖が増えました。失礼かもしれませんが戦争の時ではなく、平和になっているときに産まれることができてよかったと思います。それほど恐ろしかったです。東京は原爆投下前に空襲を受け之いたので、候補に入れられませんでした。がもし受けずに候補に入れられて投下されていたら自分はこの世にいないことになるかもしれない、そう考えました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今日の特別授業で、特に驚いたのは、
原爆の表面温度が太陽の表面温度
より高いということです。太陽が地球
に落ちてくると考えると、原爆の恐ろ
しさを強く感じました。

また、アメリカが最初におしたのが
京都だったのや、黒い雲のどき方
が知れてとても驚きました。

授業を受けて、今の自分が安全に生活
できていることは、決して当たり前は
ないのだと気づきました。また、家族
といっしょに平和に過ごせることが
どれほど幸せか考えさせられました。

そして、平和な世界になる為に、私が
できることは、とこも少しのけんかなど、こも
自分から誤ることだと思います。

そのけんかが大きくなったら、誤りにくくなる
からはやめのうちに誤っておくことがいいと思
います。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受け、私はすごく原爆、戦争についてもよく知れました。私が授業、で印象に残った事は、原子爆弾投下都市の条件が、直径5kmを超える平野であること、空っぽかなかったという条件で落としているという事を初めて知って、びっくりしました。後、エノラ・ゲイやリトルボーイという言葉を知り、今後覚えておこうと思いました。私は、国語の人權作文で、戦争についての映画や、テレビなどで学んでいたのですが、衝撃波の速さが毎秒440mという事だったり、5人に2人が死亡してしまっていて、40%の人が亡くなってしまう事を知らなかったもので、ショックが大きかったです。映画やテレビで学んでいたのもあり、共感する事もたくさんありました。原爆先生の特別授業で一番びっくりしたのは、原爆ドームの名称が、広島県産業しょうれい館という名前だったという事でした。私はおっと原爆ドームという名前かと思っていたので、広島県産業しょうれい館という名前を知った時、とてもびっくりしました。原爆、戦争についてたくさん知れたので、今後も学んだ事を活用していきたいなと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の話を聞いて、原子爆弾のおそろしさや、被爆者の思いが良く分かりました。たった1つの爆弾で何の罪もない人が14万人も亡くなってしまうことに驚きました。

全身やけどだらけで、さねるとひふがはがれるというのを聞いて、もし自分がそうなったと思うとすごく怖く感じました。14万人の人の中で自分よりも小さい子がこのようなかわいい思いをしていたなんて、かわいそうと思いました。

太陽よりも熱いものが空からふってきて、いきにくさくさんの人が死んでしまうと知って、どうやってそのようなものを作ったんだろうと疑問に思いました。

義三さんは、死体の処理をしたり、けが人の手当てをしたりしていたと知って、自分には絶対にわくてできないと思いました。義三さんは、やけどした人の手の感触を分かれられないといっていて、生きていたらずと原爆のことを思い出してしまうというのは苦しいだろうなと思いました。

原爆先生のおかげで、原子爆弾は、たくさんの命をうばうものだということも知れました。被爆者がどのように亡くなってしまうのか分かりました。原爆についてくわしいことをたくさん教えていただき、ありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、この特別授業をしてあらためて、単戈争は絶対にしてはいけないことが分かりました。なぜなら単戈争はたくさん人の命をうばっているからです。その中でも一番衝撃的なのは、原爆だと思います。この授業で分かったことは、太陽の表面温度よりもあつた7000℃の気体が土面に当たってしまい、3000℃のあつたで皮膚もはかれおろるほどのあつた、ことが一番衝撃的でした。

原爆での被爆者は24万人、亡ってしまった方の人数は14万人だ、たそうです。そのころの広島市の人口は35万人だ、たので5人に2人が亡、てしま、たと言、ていてびっくりしました。

私は最初 アメリカは広島と長崎に絶対おとそうとしていたのでは、かと思、ていたけど実は京都におとそうして、いたと言、ていた所で京都もあつな、たことが分かりました。

映像をみて私はものすごくこわ、たです。その中で印象にのこ、た思、いは両手をななめ前にしな、か「兵隊さんたすけて」と言、ていたところか一番印象的でした。

池田義三さんが原爆資料館では實際のこわさか分、かからない、そ、な生やさいいものではないと言、ていたところで単戈争はものすごくこわいものだとあらためて分かりました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業を受講して一番おどろいたのは人がただ外で座っていただけなのに原爆が落とされた後あとかたもなく黒いシミだけが残っていたのが一番おどろきました。

他には川に入ったり水に触れている人達は水がふっとうして熱すぎで亡くなった人達がいるのもおどろきました。この原爆先生の特別授業で分かった事は「原爆」雲の上が平らなのはもうこれ以上、上にはいかなからと教えてくれました。他に分かったことは、太陽の表面温度より1000度もあつい7000度の気体が接近してきた事が分かりました。私は、おじいちゃん、おばあちゃんたちが広島なので何度にも原爆ドームをいったことがあります。私はこれからも原爆ドームに年に一度行くと思います。他にも、改めて戦争は絶対にいけない事がわかったので、これからも戦争について学んでいこうと思います。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業をしてくれて、ありがとうございます。
また、授業のタイトルが「 7000°C の少年」で、最初にお、
少年が原爆によって、 7000°C になってしまったのかなと
思いました。しかし、授業を聞いて、このタイトルの意味
が分かってきました。原爆の名前が「リトルボーイ」という名
前で、日本語だと、少年や、小さい子どもという意味だとし
て知りました。さらに、原爆は、中の温度が100万 $^{\circ}\text{C}$ で、外の
温度が 7000°C という事も、はじめて知りました。そして、
それによって、多くの人が死んでしまったという事は最初が知って
いましたが、被爆者数が24万人という、広島市の人口
の半分以上という事も分かりました。他にも、初めて知った
事がたくさんありました。原子爆弾投下都市の条件が、
3つあるという事を家族に言っていました。勉強した
事を、池田先生みたいな、家族以外でも色々な人に
戦争のことを教えていきたいです。おかげで、今回の
授業で、戦争のこれを知ることができました。いつか、
広島市にある原爆ドームを見に行きたいと思っ

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今まで原爆について、知るきっかけがなかったのて、知ること
かてきてうれしかったです。

今回、池田先生に、原爆かどのくらいの温度なのかや、どのくらい
の、被爆者かてたのかを教へてもらい原爆の大きさを知りました。
私は、原爆はそんなにたいした事のない事だと思っていたので、

動画を見て、そんなにすごいことだと知って、もっと原爆のこと
を知りたいと思いました。他にも真実になることに、おどろきました。

原爆の温度が、まわりの温度 7000℃というのに、びっくりしたので、し
今の、東京の温度が 35℃以上だとけそうなのに、それより約 6965℃を
まかすことに、びっくりしました。

あと、原爆がおとされたときにベンチにすわっていた、男の人の、あとか、黒いか
げがでるこしか、あるしなかったのて、それほど、熱いとお話をきいて、
わかりました。

原爆の被爆者数が24万人、死者数が、14万人と言っていて、

死者数がそのくらいいると、東京の人口が、 $\frac{1}{4}$ くらい減ると思い、

すごくおそいと思いました。

原爆をおとすのに、天候で決まり、広島、の天候が良かったのて、こ
広島におかたというのを知って、すごく勉強になりました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

最初は、タイトルの「 7000° の少年」とはどういう意味なのだろうと気になっていたけど話を聞いているとだんだん意味が分かるようになりました。原爆先生が、原爆の表面温度は 7000° 度とあると言っていた時にタイトルの「 7000° の少年」とは原爆の表面温度のことだったのだと気づきました。今回、原爆先生の授業を受けて疑問に思っていたことが分かるようになりしました。例は、どくして広島と長崎に原爆が落とされてしまったのだろうと思っていました。原爆先生のお話を聞いて天気などの理由があったのだと知れました。そして、原爆は 7000° のとても高い温度だと知りました。太陽の温度は 6000° なので、太陽が $600m$ 上にあらわれたようだと。言っていたこともとても覚えています。

そして、義三さんはどのような体験をしたのかよく知ることができました。今回、授業をしてくださりありがとうございました。前よりも、第二次世界対戦ではどのような出来事があったのかよく知ることができました。前よりも歴史に興味を持つことができました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

ぼくは、この原火暴先生の話しを聞いて思ったことがあります。
さいしょのうかがいを見て原火暴とは、こんなに怖いのかを知った。
すぐ大変がおきた、兵隊の人は、ケがをした人をたすけたリ
死体を運んでいたりその時の大変がわかる。

自分たちがすくいにあきらめてしまうのに戦争に巻きついて
それでよしという人は、戦争を生きぬいて80歳い
まで生きてすごい人だなと思いました。

次に広島は、戦争のどいつに広島を損えと伝えました。
本当は、京都をねらっていましたが京都は、大切な建造物があるから
きゆうきふ 広島にたひをはいた。この特別授業で今が
平和でよかったと思います。

原子爆弾は、3トンもあり重くて重いのが
みてもたらこわいとおもった自分は、原火暴がらってき
たらどのようにはいしやるかを考えた自分は、大ケがをし
ていたりの人にたすけてもらいうけなれりと思っただけ
自分が生まれていたらこんな人してないともてきないと思
う。

こんなさかひがあつてよかったです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

元々私のおばあちゃんが、島根県出身なので、島根県に行くついでに広島県に行くという機会が7月だったので、原爆の事について少しは知ってはいたけれど、実際に経験した人からお話をしてもらうと、観光地では知れない事があったので、それはとてもいいなと思いました。特に太陽の表面温度より原爆の表面温度の方が温度が高いというのがおどろきました。太陽の表面温度が6000℃で原爆の表面温度が7000℃で1000℃も高いのがおどろいた。原爆の中心の温度は、1000000℃というのがとてもおそろいと思った。街(地上)から600m上だったらしいが、それでも3000℃というのがすごいなと思いました。当時の広島の人からして、ひばくしゃが70%、死亡確率40%というのがとてもこわいと思えた。当時、約半分の方が一発の原爆でなくなりました。考えると、とても原爆はおそろいなものだと改めて知りました。流していた動画もすごくわかりやすかったので、広島原爆や、あまり知らなかった長崎原爆の事についてもよく知る事ができました。今回の原爆先生の特別授業を受けてみて、長崎原爆の事についても知る事ができたので、よかったです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今日は原爆について教えてくれてとても感謝しています。今日原爆について学び改めて戦争のおそろしさを実感しました。たった1つの爆弾で、広島や長崎の町が一瞬で焼け野原になり、多くの人々の命や生活が奪われたことを知り、とてもしょうげきを受けました。

特に、焼けた皮膚が肉からはがれるというようなことが心にのこっています。

授業を通して平和に生きられることが当たり前ではないと気づき、自分たちが今こうして笑ったり勉強したりできているのは、多くの犠牲と努力があったからだと自分は思います。

これからは「平和を大七刀に」「忘れないこと」という気持ちこそが私たちにできることだと思いました。

また、身近な人との時間を大切にした、

戦争を二度と起こさないために平和について考え続けたいです。そして今回学んだことを忘れずに未来へつなげていきたいです。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私が今回の授業を通して気づいたこと、分かったことは、
初めに日本がアメリカ(ハワイ)に戦争をしかけていたことが分か
り、そして広島に原爆が落ちたということです。

私が一番気になったことは、なぜ広島に原爆を落としたのか
でした。

でも、今回の話、説明を聞いてどうして広島にしたのか分
かりました。

初めは、京都を狙っていましたが、京都には人間にとって大切
な物、文化があるということから、目標地が広島になったそうです。

もう一つ説明を聞いて思ったことが、アメリカが広島に原爆
を落とす時に考えた条件についてです。

例えば、直径5kmを超える、平野であること、空襲がなかった
などを条件にしていたことを初めて聞いたので一番印象に残りました。
原爆が落ちた時に火傷した時にどうして手を前方ではなく前
に手を出している理由も分かりました。

だから、これからは自分達が出来る平和を守る行動を取ろうと
思いました。そして、平和主義が作られた意味が、もともと
深く知ることができました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

僕は最初、原爆について授業で習っていて少しは知っていましたが、原爆先生の話を聞いて、授業で習った以上にとても恐くて、こわいかも知りました。原爆が投下され爆発したとき、一瞬にして建物の中の物やまどが、消えたり人もかけだけを残して消えたと聞いてとてもおどろきました。

そして爆発した後熱や放射線をうけて死んだ人がいることを聞いてさらに原爆がこわくなりました。

その後も放射線のせいとして長く苦しんでいる人達がいて、そのことを知りました。ほくが毎日笑って友達と遊んでいることがどれくらい幸せなのかに気づきました。原爆の被害のことをこの後もずっと伝えていこうと、いくことが大切だと思いました。

戦争や原爆は二度としてはいけないと思いました。今回の授業で学んだことを忘れないで、心にこめていき、友達とも仲良く平和に、仲良くして学校生活を過ごしていきたいと思います。最後に、この話を聞いて、原爆についてくわしく知ろうと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆を落としたB29の名前がエッダ・ゲイ、
という名前とその名前の理由がわかってうれしかった。
原爆の衝撃波が440%秒で音速より速くて、
その後に熱線が来て最後に放射線が来る
という3大功撃が来ると改めて佐藤栄作首相
が非核三原則(持たず作らず持ち込まず)を
作った理由がわかった。

原爆が爆発した時の中心部が100万℃で
それが太陽の表面温度より高いことに驚愕は、
アメリカがらつの候補選んで第一候補を京都に
しなかった理由がわかってよかった。

原爆の被爆率が70%で死亡率が40%
であることから相当すさまじいものだ"と知った。
原爆の爆発地点が真空地帯な初めで知った。
今回の原爆先生の特別授業を受講して、
核爆弾いちえる原子爆弾の悲惨さを知り、
原子爆弾という世界で唯一落とされた国が
知るこの大東亜戦争でわかったことを世界に報道して
一刻も早く消してほしいと思ふ。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

私は、この特別授業を通して、改めて
原爆のおそろしさを知った。

今まで原爆はただのバウダンとしか思っ
ていなかったけど、こんなにおそろしい物
だとは知らなかった。

しかも、600mもはなれているのに、3000°
もの熱さになったら、と考えるだけでおそろ
しいと思った。

また、3mしかよこはばがないのに、4寸もある
のにおどろいた。

さらに、この授業を通して、
こんな事は二度と起きてほしくないと思っ
ました。そしてこういう事を当たり前にする
戦争も良くないと思いました。

次は、長崎の原爆の話もぜひ聞いてみ
たいと思いました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

今日原爆先生の特別授業を受講して思ったことは、
原爆は放射能ばかりに注目していたけど爆弾自体
の威力も凄いなと思った。

放射能は福島原発のこともあり被害が凄かったことは、
知っていたけれど爆発のことはあまり知らなかったから
知らなかったけれど今日の授業で原爆の恐ろしさを再
認識できた。

原爆でこの雲できたのは知っていたけれど
上空600mから爆発してあの惨状なのかと思ったり
爆発の中心温度が100万度超えていても、
表面温度が7000度で太陽の表面温度6000度
よりも高いことに驚いたしそれでも復興できて
いる広島にも驚いた。

原爆を使うのは悪いことかもしれないけど、
原爆の力を平和的に利用することができれば人類は
もっと豊かになると思う。

原爆の恐ろしさや威力を今回の授業で再度
思い知った。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

この間は原爆についてお教えていただき

ありがとうございました。

私は原爆については本やテレビでしか見たこと

がなく、今回初めて原爆の怖さを知りました。

本やテレビで見た時は「怖いな、など」という感情しか

ありませんでした。ですが、今回の学習で、どれだけ

原爆が尊い命を一瞬で奪う恐い物かと

言う事が分かりました。

あの授業で原爆を落した時の人々の姿が一瞬で

想像がつかない、とても悲しい気持ちになりました。

どうか、これから先未来に“戦争”“原爆”という

言葉がなくなる平和な世界にな、てほしいです。

そのために私は、これからも戦争体験者の方々の話を

たくさん聞き、そして伝えていきたいと思います。

平和を守っていくために自分達にできる事からしていきたいです。

本当にありがとうございました。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆の授業を受講して、今の生活がかなり平和になったと思う。話の内容を聞いて、とてもおそろしかった。これを守るために「平和主義」ができたんだなと初めて実感した。自分のひいじいちゃんも原爆が落された時、生きていた。小さいころに大きな爆たんが広島に落された話をしていて、そのころもおどろいていたけど、原爆先生が話していたことをきくともっとおどろいた。ひいじいちゃんは104才で亡くなったけど、それまでたくさん戦争や爆たんの話をしてくれた。それを知らなかったら、自分は何も言えなかったと思う。原爆先生のおかげで原爆のことを深く知ることができた。原爆の話をしてくれた人はひいじいちゃんしかいなかったからとてもうれしかった。自分も広島、長崎には行ったことがない。いつか行ってみて、原爆が落された所や原爆ドームなども見てみたい。こう考えてみると、ひいおじいちゃんといっしょにいてみたいという思いがある。

原爆先生の特別授業を受講して

※名前は裏面に記入してください。

令和7年9月2日(火)

原爆先生の特別授業をしていて思ったことは、まず原爆の表面温度が7000°でびっくりしたこと、原爆の中の温度が100万度でびっくり熱いなと思った。またびっくりしたことは、太陽が6000°なこと。太陽より暑くて、それが近づいてきていること、すごくおそろしいと分かった。

原爆先生が言っているとき私たちにどれだけおそろしいか、先生の話し方でよく伝わってきた。

原爆は3.12m、約4メートルあり、原爆の名前は「リトルボーイ」という。「リトルボーイ」は「小さな子」「少年」という意味があると知った。

原爆が落とされると「衝撃波」があり、衝撃波は2回おきた。その衝撃波で雲が上へ上へと行った。上へ上へと行くと雲が行ける一番上まで行ききりの形の雲ができた。その雲は「原爆雲」と言う。

原爆がおちる前、外でこしかけていた、黒いかけただけが残ったのがおどろいた。

今日の特別授業を受けて原爆についてよく知りたいと思った。